

なのはな

～新しい出会いの季節に～

NPO法人 なのはな
◇あおぞらキンダーガーデン
◇まほろば
◇わとと・あおぞら
〒420-0961 静岡市葵区北226-1
TEL/FAX 054-246-2213
E-Mail : aozora@shizuoka.tnc.ne.jp
npo-mahoroba@uv.tnc.ne.jp
URL : <http://www4.tokai.or.jp/nanohana/>

新しい出会いは、未来を予測してワクワク・ドキドキ心を躍らせる反面、不安もあるのは、大人も子どもも同じですね。

でもこの不安も4月、5月と月日を重ねていくうち緊張が解けて笑顔が増えていくのも、毎年の子ども達や親達を観ていると実感します。

長く子ども達と一緒にいて、どんな魔法があるのかな？と思うのですが「ともかく慣れることだよ」「休ませないこと」「バシッ！ということだよ」なんて気の利いた言葉や魔法の一言もなくノウハウも無いのです。

それでも「何かあるのでは？」と再び聞かれたら

保育者には「子どもが笑顔になる時間を見つけ出して少しずつ増やすこと」

親達には「ぎゅっと抱きしめて大丈夫だよ」と送りだすことかな？と思います。

共通するのは、何かが出来るとか偉いとか出来ないからダメと言う考え方ではなく『どんな姿を見せても、子どもの価値を見つけ愛すること』かなと思います。そして、大人の関係がよければ子どもの笑顔は、早く溢れてくるの事も実感します。

NPO法人なのはなも設立4年目に入りました。今年もどんな子ども達・大人達と出会いがあるのかなとそれぞれの事業のスタッフ一同とっても楽しみにしています。

3月11日に起きた東日本大地震。

日本の国中が心を痛み、心を1つにして早くの復興を心より願っています。

その中で大人達は、人間としてどう生きていくのかが今問われています。

「未来を切り開き人間として生きていく力を育てる」教育・保育者は、子ども達に安心出来る生活・豊かな遊び経験を創り、発達保障する仕事として子ども達や親達の笑顔が溢れるよう保育・事業活動を行って生きたいと思っています。

今年もスタッフ一同どうぞよろしく申し上げます。

子育ては、

じっくり・ゆっくりに・ていねいに・そして優しく

岡

あおぞらだより

顔晴れる

3月の東北大震災では、春休み中の学生がボランティアとして参加し、あっという間に求人人数を越えたという、厳しい状況の中でも日本の未来に光を感じる事が出来る話を伺いました。

そんなボランティアさんに被災者の方がこう声をかけたと言います。

「あなたの頑張りを見て、顔晴（がんば）れる」

当たり前な生活を失った中でも、そこに「人」がいることで、気力、元気、勇気がつながり湧いてくるのですね・・・素敵です。

4月から新しいお友だちを迎え、新しい園生活がスタートします。

進級児は1つ大きくなった喜びにワクワク。でもちょっぴりドキドキ。

新入児さんは初めての集団生活に親子でドキドキ。

そして迎えるスタッフもちょっぴりドキドキしながらも、新しい出会い、スタートを心待ちにしています。

子どもたちにとっても、おうちのかたにとっても、あおぞらが一日も早く落ち着く居心地のいい場、そして、「顔晴（かお、は）れる」場となるよう、スタッフ一同心がけていきます。

よろしくお願ひします。

(ゆうこ)

まほろばの部屋から

ともだちになるのはむずかしいなあ

公園に行くと、そこにお兄ちゃんたち数人が遊んでいました。

その中にズカズカ入っていく我が子。

あまりにもズカズカ入っていったからか、お兄ちゃんたちに頭をボカスカ叩かれました。

「お兄ちゃんは、たけるくんのことがきらいなの？」

叩かれた理由を3才半なりに考えているようです。

しばらく悲しい感じを引きずっていたので、

「お兄ちゃんのたいせつなところだったんだよ」

「今度は『叩かないで』『やめて』と言ってみたら？」と伝えると、

大きい声で「叩かないで」「やめて」とくり返し言っていました。

数日後、公園に行く途中「お兄ちゃんがいたら、『いやだー』っていうんだ。『叩かないでー』っていうんだ」と、まるで自分に言い聞かせるように言っていました。

相手の気持ちを推測して落ち込んだり、自分で自分を元気づけたり、と。

3才も色々あるんだね。

(明子)

わとと・あおぞら

ママもひとやすみ

1才の双子のママが、少しお疲れの様子でいらっしやいました。

「ママ今日はなんか大変そう 大丈夫？」

「子どもの風邪の看病疲れかな。」

わととにすれば、何とかしてもらえるかなと思って、思い切って出てきてしまったの。」

「それは大変だったね、いっしょに遊ぼうね。」

この時期の子育てに 待ってて はむずかしいから、自分の事は後回しになってしまうのですよね。

ゆっくりお昼寝が出来たら、体力も回復なのでしょうが、子どもが目でママを確認しながら遊んでいます。

ママは温かい紅茶と、友達やスタッフとのおしゃべりに 少しほっとされたようでした。

今年も親子で安らげる居場所でありたいとスタッフ一同心のドアを大きくあけて待っています。

利用料が4/1より無料となりました。たくさん遊びに来て下さいね。 (かよみ)

友達と見る絵本



しろくまちゃん ばんかいに / こぐま社 わかやまけん 作

しろくまちゃんが 大好きなママといっしょに おつかいへ。
子どもたちの日常にピッタリ。 子どもたちは しろくまちゃんの気持ちと
同じ、ウキウキ いっしょにおかいものを楽しみます。

フランスパンを買って、 最後には魅力的な大きなケーキを見つけます。
ママにおねだりする しろくまちゃんだけど、今日は買えずに、
おかあさんの けちんぼ。

このセリフも、子どもたちの気持ちに ピッタリ。

2才児が 真似して言うと、1才児も。

保育者にも “ けちんぼ ” です (うふふ)。

子どもたちが 読んで! と持ってくる絵本の1冊です。

イナバ

育ててよし、ふじのくに民間チャレンジ応援事業

子育て中のお母さんのための
無料電話相談

0800-777-7087

平日9時~14時 (祝祭日除く)